

分科会評価報告書（令和5年度決算）

（総務生活分科会 No.2）

(所管課, 事業コード)	(政策推進課 2115)	
事業名	企画調整事務経費	※P. 548

評 価	B	A 十分評価できる	Ⓑ やや評価できる	C あまり評価できない	D 全く評価できない
-----	---	-----------	-----------	-------------	------------

【評価に至った理由】

スマートで持続可能なまちをつくるに当たり、各種協議会に対し負担金を出し広域行政を推進することは必要かつ有効である。しかし、その事業費の多くの割合を占める鹿行広域事務組合負担金に関しては、養護老人ホームの民営化が決定し、今後鹿嶋市としてかかわる事業が主に職員共同研修のみになってしまい、今後の新しい事業も具体化していないことを考えると、組合決算額の一般管理費（人件費等）の金額の高さと負担金割合の根拠において不公平感を感じてしまう。効率性において、やや疑念が残ってしまった。

今後の方向性	3	1 拡充	2 継続	Ⓒ 改善	4 縮小	5 休止	6 廃止
--------	---	------	------	------	------	------	------

【今後の取り組み方と提言】

鹿行広域事務組合に関しては、目的を再度検証し、今後新しい広域行政の事業として何をしていくのかの案を出し合い、真剣に検討する必要がある。事務組合の一般管理費（人件費等）や負担金根拠の割合も鹿嶋市にとって不公平感が無いように見直しが必要。今後の鹿嶋市の住民サービスと利便性がより良くなるために出た案として、火葬場の共同運営があった。将来的には、広域行政として、定住自立圏構想や市町村合併ということも視野に入れながら議会との連携と合わせて鹿嶋市にはリーダーシップをとってもらいたい。